

全学共通・教養科目

科目コード	13101		区 分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目		
授業科目名	日本国憲法		担当者名	山本 満理子			○		
			実務経験との関連	県議会議員、裁判所調停委員としての実務経験から得られた専門的知見を授業内容に反映している。					
配当年次	1年	配当学期	後期	単位数	2単位	授業方法	講義	卒業要件	選択

<授業の概要>

本講義は、裁判例・通説を前提とした我が国の現行憲法（日本国憲法）の解釈論を中心について検討していく。また、学術的に重要な論点のみならず、各種公務員試験に臨むにあたって最低限必要となる日本国憲法に関する知識や、教員が備えるべき素養としての日本国憲法に関する知識にも配慮した講義を行う。

<授業の到達目標>

- ① 授業で扱った主要なテーマについて、重要な憲法学的知識（基本概念、条文・判例・学説など）を論述することができる。
- ② 各種公務員試験等の本格的対策をするに際して学習を進めやすい素養を獲得している。

<授業の方法>

シラバスの予定に沿い、教科書を参照しながら講義形式で進行する予定ですが、この限りではありません。毎回教科書の指定範囲をあらかじめ通読して臨みましょう。ディスカッションやディベート、Google Classroomを使用した小テストをや振り返りシートやレポート等を行う予定です。

※教科書を指定しますが、他の基本書を持っている学生は相談してください。

<アクティブ・ラーニングの要素有無、有る場合はその方法>

アクティブ・ラーニングの要素有（ディスカッションやディベート、事例研究発表の実施を予定）

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

受講態度・課題レポート・小テスト 50%、定期試験 50%により総合的に成績評価

<教科書>

毛利透（2021年2月）『グラフィック憲法入門 第3版』 新世社

<参考書>

特になし

<授業計画>

回	テーマ	授 業 内 容
1	ガイダンス	講義の進行方法や学習方法、評価方法について解説します。
2	日本国憲法とは	憲法の基礎知識と日本国憲法の歴史と構成について
3	国民主権と象徴天皇制	国民主権、象徴天皇制、皇位継承のルール、天皇の権限
4	平和主義	我が国の平和主義の歴史的沿革や意義
5	基本的人権 (1)	基本的人権の尊重
6	基本的人権 (2)	法の下での平等
7	基本的人権 (3)	精神的自由
8	基本的人権 (4)	経済的自由
9	基本的人権 (5)	人身の自由
10	基本的人権 (6)	社会権
11	基本的人権 (7)	参政権・国務請求権
12	統治機構 (1) (2)	国会、内閣
13	統治機構 (3)	裁判所
14	統治機構 (4)	地方自治
15	憲法改正、全体総括	憲法改正についてとこれまでの授業内容の要点およびまとめ

全学共通・教養科目

科目コード	13100		区 分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目		
授業科目名	フレッシュマンセミナー〔通年〕		担当者名	宮原 舞/畠中 要輔 三垣 雅美/仙波 慎平 江波戸 智希/河野 儀久			○		
			実務経験との関連	担当者の中で、アナウンサー、高等学校教員、専門学校教員としての実務経験から得られた専門的知見を授業内容に反映している。					
配当年次	1年	配当学期	前期	単位数	2単位	授業方法	講義	卒業要件	必修

<授業の概要>

大学4年間の学生生活は、その後の人生に大きな影響を与える。この4年間でどのように生きるか、大学生活をどのように過ごすかを考え、学生一人ひとりが責任をもって、社会人として成長するための助言指導をおこなう。本授業では、社会で求められる社会人基礎力をもとに、大学生としての基礎・基本を身に付けることを目指し、主体的に学習に取り組むことのできる態度を養成していく。基本的に講話形式で展開する。基礎ゼミナールと連動しながら、IPU生として求められる資質・態度を考え、実践することで、自分に自信を持ち、妥協しない進路選びの土台を作る。

<授業の到達目標>

本授業では、非認知能力及び認知能力の獲得のために、本学学生に求められる基礎・基本となる力を養い、2年次キャリアディベロップメントにおいて自身の適切な進路決定をするための土台づくりが目的である。毎時の講話を通して、①IPU生・社会人・体育人としての考え方、態度を身につける。②五訓、特に「前進力」を高める。③積極的な理解・表現活動、知的言語活動のために、あるいは、実社会におけるコミュニケーション活動を行うために必要な文章読解力及び文章作成力を身につける。

<授業の方法>

1. 講義（メンターやゲストスピーカー等による講話）
2. グループワーク
3. 省察活動（質疑・まとめ・感想発表）

<アクティブ・ラーニングの要素有無、有る場合はその方法>

アクティブ・ラーニング有

クラス・グループに分かれ、テーマごとにディスカッションおよび成果物を作成する。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

授業態度(身だしなみ・ディスカッションや演習への取り組み態度等) 30%、小課題① 50%（レポート・基礎学力課題）、課題②（発表等）20%

<教科書>

吉原 恵子（著）、間渕 泰尚（著）、富江 英俊（著）、小針 誠（著）（2017/10/10）「スタディスキルズ・トレーニング 改訂版：大学で学ぶための25のスキル」実教出版

<参考書>

特になし

<授業計画>

回	テーマ	授 業 内 容
1	大学の方針・創志学園の歴史	大学の目的・意義・建学の理念を理解する。
2	講話（ゲストスピーカー）	大学生のための非認知能力
3	ゲストスピーカー（講話）	非認知能力の伸ばし方
4	文章力の必要性	言語力・文章力の必要性（オンデマンド）
5	環トレ	文章力検定①
6	コミュニティ形成	ニュースポーツ体験
7	ゲストスピーカー（講話）	非認知能力と認知能力等を共に伸ばす
8	クラス活動①	本の要約と図書館利用
9	クラス活動②	図書館利用と本の要約
10	クラス活動③	図書館利用と本の要約③
11	ビブリオバトル	クラス内において本の要約を発表を行う
12	環トレ	文章力検定試験対策
13	環トレ	文章力検定試験対策
14	環トレ	文章力検定試験対策
15	環トレ	文章力検定試験
16	後期にむけて	クラス活動・履修登録・個人面談
17	ゲストスピーカー（講話）	社会人になった自分を描く
18	体育イベント運営の方法①	体育イベントの方法とリスクマネジメント①
19	体育イベント運営の方法②	体育イベントの方法とリスクマネジメント②

全学共通・教養科目

20	体育イベントの方法	体育イベントの方法とリスクマネジメント③
21	コミュニティ形成	スポーツレクリエーション計画
22	クラス間交流	スポーツレクリエーション実行
23	クラス間交流	スポーツレクリエーション実行
24	環トレ	文章力検定試験対策
25	プレゼンテーション	スポーツレクリエーションフェス実施報告
26	環トレ	文章力検定試験対策
27	環トレ	文章力検定試験対策
28	環トレ	文章力検定試験対策
29	環トレ	文章力検定試験
30	ゲストスピーカー（講話）	社会人になった自分を描く

全学共通・教養科目

科目コード	13200		区 分	教養			実務経験のある教員等による授業科目		
授業科目名	キャリアディベロップメント [通年]		担当者名	小崎 遼介/高橋 章二 宇都宮 浩司/坂本 康輔 田中 耕作/坂本 賢広			○		
			実務経験との関連	担当者の中で会社員、特別支援学校教員、高等学校教員、柔道整復師としての実務経験がある教員が実務経験を踏まえたテーマを扱い指導する。					
配当年次	2年	配当学期	通年	単位数	2単位	授業方法	演習	卒業要件	必修

<授業の概要>

「働くこと」は、生活の安定や社会貢献など、豊かで人間らしい生活を送る上で大変重要な意義をもつ。本授業では、社会人として社会の中でどう生きていくのかを考えながら、求められるスキルについて分析し、そのスキルを身につけていく。さらに、共に設定したテーマや課題に対して、仲間と共にチームで協力・協働することを通して、社会人基礎力となる主体性・コミュニケーション力・応用力の育成を目指す。またデジタルツールを使用し、その工夫した活用に努める。そして、専門職・企業人・およびゲストスピーカーによる「働くこと」の意味、仕事の適正、求められる能力などの講話を受けることによって、社会人として必要な実践力を向上させていく。

<授業の到達目標>

1. 自己の資質・能力を把握したり、職業適性を理解したりして、職業選択の見通しをもつことができる。
2. 毎回の演習や講話に主体的に参加し、テーマについての学びと自己の考えについて適切かつ的確に言語化したり、デジタルツールを活用し、意見交換ができる。
3. 実践の場を通して、社会人として必要な実践力を向上させる。

<授業の方法>

1. 講義（ゲストスピーカー等による講話）
2. グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーション発表
3. 省察活動（質疑・まとめ・感想発表）
3. 課題（基礎学力教材に取り組む）

<アクティブ・ラーニングの要素有無、有る場合はその方法>

アクティブ・ラーニングの要素有
（ディスカッション、ディベート、グループワークの方法）
5、6人のグループに分かれ、各回毎のテーマについて意見をまとめグループごとに発表を行う。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

講義への取組み姿勢と受講態度、受講意欲 30%
レポート課題 40%
環境レ言語力目標達成 30%
必ず、授業時間と準備学習で課題に取り組み、期日までに発表・提出をすること。

<教科書>

公益財団法人 日本漢字能力検定協会「文章検公式テキスト」
株式会社KEIアドバンス「運動部学生のためのスポーツ探求ことば入門」

<参考書>

吉原恵子他「スタディスキルズ・トレーニング」実務出版

<授業計画>

回	テーマ	授 業 内 容
1	2年生における学びのデザイン	・授業の内容の理解 ・自身のキャリアについて考える。
2	IPU2年生としての心構え	・建学の精神について講話を聴いて深める。 ・資格免許について考える
3	クラス対抗チームビルディング	クラス対抗チームビルディングを実施する
4	イベントスキルアップ講座（オンデマンド）	イベントに関して作り方を学ぶ
5	環境レ（言語力を高める）①	文章力検定3級試験の受験を行い、言語力を検証する
6	イベント内容の検討①	イベントを知る
7	イベント内容の検討②	外部講師によるイベント作成方法を学ぶ
8	イベント内容の検討③	SNS投稿について クラス内役割決定②
9	イベント内容の検討④	担当イベント コンセプト検討
10	イベント内容の検討⑤	担当イベント コンセプト発表（クラス内）
11	イベント内容の検討⑥	クラス間 コンセプト発表
12	イベント内容の検討⑦	先輩たちのお話（昨年度のイベントについて）
13	イベント準備①	イベント企画・準備

全学共通・教養科目

14	イベント準備②	イベント内容 中間報告会
15	環トレ（言語力を高める）②	文章力検定模擬試験を実施し、言語力を検証する
16	2年生後期における学びのデザイン	自分の進路を見直し、履修訂正および資格免許を検討する
17	進路別講話①	教員・公務員・企業コースの担当者から話を聞き、自分の進路を決めていく
18	進路別講話②	教員・公務員・企業コースの先輩・卒業生から話を聞き、自分の進路を決めていく
19	人権学習	外部講師による人権学習を行う
20	外部イベントでの活動①	外部イベントを実施する
21	外部イベントでの活動②	振り返り、データのまとめ
22	外部イベントでの活動③	振り返りプレゼンデータ作成
23	外部イベントでの活動④	プレゼンの方法を学ぶ
24	外部イベントでのプレゼンコンテスト①	クラス内発表
25	外部イベントでのプレゼンコンテスト②	クラス間発表
26	ゼミ選択を行う①	ゼミ選びとは何かを学ぶ
27	チームビルディング	クラス間交流
28	ゼミ選択を行②	各ゼミの説明会を行う
29	環トレ（言語力を高める）③	文章力検定最終試験
30	2年を振り返り、3年生を考える	後期学期末集会 / 振り返りを行う

科目コード	14002		区 分	教養			実務経験のある教員等による授業科目		
授業 科目名	キャリアデザインⅠ〔企業〕		担当者名	佐藤 典子/眞鍋 芳江 鈴木 真理子/本庄 慶樹 濱嶋 幸司			○		
			実務経験 との関連	担当者の中で一般企業経験者、キャリアコンサルタントとしての実務経験がある教員が進路選択、キャリアプランなどについて指導する。					
配当年次	3年	配当学期	前期	単位数	1単位	授業方法	講義	卒業要件	必修

<授業の概要>

「折れない、やめないIPU生」の育成をしつつ就職支援も強力に推し進めるために、キャリアデザインIは具体的な就活能力の向上につながる授業とする。

<授業の到達目標>

自己分析や学生時代の経験の棚卸ができるようになり、将来のキャリアをデザインをする力が付く。

<授業の方法>

アカデミックな内容に加え、実用的なノウハウも学ぶ。外部講師を招へいしての講義や、クイズや動画も使う。履修者は300名を超えることが想定されるが、毎回前半Aと後半Bに分けて、45分授業を2回実施する。

<アクティブ・ラーニングの要素有無、有る場合はその方法>

アクティブ・ラーニングの要素有

クイズ、ペア・ワーク、グループ・ワーク、ディスカッションなど。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

参加意欲・態度 60%、提出物 40%。フィードバックとして、振り返りのコメントの中から代表的なものを全体で共有することがある。

<教科書>

適宜配布物を提供する。

<参考書>

特になし

<授業計画>

回	テーマ	授 業 内 容
1	ガイダンス シラバス説明、キャリアセンター担当者紹介	前期の授業内容の紹介、ならびにキャリア支援や就活基礎知識についてキャリアセンターから伝える。また現在の就職活動を取り巻く環境についても情報を提供して理解を促す。
2	A. キャリアとは B. 就職活動の支援環境を把握する	就活支援状況ワークや、マッチプラスのワークを活用する。
3	海外で起業した事例から学ぶ	アフリカでチョコレート・ビジネスを起業した外部講師を招聘して、起業の難しさや遣り甲斐について学ぶ。
4	キャリアアンカーと就活の軸	自己理解を進めるワークをオンデマンドで実施する。
5	A. インターンシップとは？ B. リクナビからの情報提供	エントリーの方法やオープンカンパニーについて学ぶ。キャリアアンカーと繋げて考える。
6	業界研究・企業研究ワーク	業界について理解を深める。企業のミッション、ビジョン、バリューについて学ぶ。全体を2つに分けて、対面とオンデマンドになり、翌週とたすき掛けの内容となる。
7	ライフプランニング	先週の逆のグループ構成で対面とオンデマンドになる。全体を2つに分けて、たすき掛けの内容となる。人生の必要経費について考える。
8	A. 自己理解ワーク B. 先輩の経験談	ジョハリの窓のワークやIPU先輩の就活体験を聞く。
9	新卒市場について	売り手市場、離職率、ジョブ型雇用について学ぶ。
10	就活プランシート	IPU生のタイプ別就活プランを立てる。
11	A. 就職活動を先輩から学ぶ B. 就活について必要な知識を身につける	4年生パネルディスカッションから就活への理解を深め、ビジネス・マナーについて学ぶ。
12	人生をデザインする	ライフワーク、ライフラインチャートを作成する。
13	業界研究・企業研究	働き方の多様化について学ぶ。ブラック企業についての理解を深める。全体を2つに分けて、対面とオンデマンドになり、翌週とたすき掛けの内容となる
14	自己分析	先週と逆のグループ構成で対面とオンデマンドとなり、自己PRの作成、棚卸をする。
15	SMART目標の作り方	夏休みの目標設定をする。

全学共通・教養科目

科目コード	14002		区 分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目		
授業科目名	キャリアデザインⅠ〔教職〕		担当者名	練 亨 千之/坂根 清貴/奥山 優 安井 正郎/千葉 照久 大崎 卓己/延原 まどか 岩田 清隆/中野 隆重			○		
			実務経験との関連	担当者の中で小学校教員、中学校教員、特別支援学校教員としての実務経験がある教員が、実務経験をもとに教職について指導する。					
配当年次	3年	配当学期	前期	単位数	1単位	授業方法	講義	卒業要件	必修

<授業の概要>

キャリアデザインⅠは子ども発達学科、教育経営学科、体育学科に在籍している教員を志望する学生が対象である。教員としての働くことの意義や自己理解を深める中で、必要な資質や能力を養い、将来の生き方について考えさせるとともに、教員採用試験合格を目指して、必要な取組について指導を行う。学習成果については、論理的思考力、表現力、協働性、教職への熱意などについて評価する。

<授業の到達目標>

1. 教員を選択した意思を明確にし、その職に進むために必要な資質や能力を高めることができる。
2. 自己理解を深め、将来の生き方について考えることができる。
3. 教員採用試験合格を目指して、必要な取組を理解し、日常の実践に生かすことができる。

<授業の方法>

- ・講話を通して、課題の提示や説明を行う。
- ・課題についてグループディスカッションを行う。
- ・課題についての演習を行う。
- ・レポートの提出。

<アクティブ・ラーニングの要素有無、有る場合はその方法>

- ・テーマについて5、6人のグループに分かれてディスカッションを行いグループごとに発表したり、近くの学生同士で意見交流を行ったりする場を設ける。
- ・事後課題として授業での学びを振り返り、気づきや今後に生かしていきたいことなどをレポートにまとめる。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

学習意欲 20％、 受講態度 20％、 講義内での課題等 20％、 最終レポート 40％

<教科書>

特に指定しない

<参考書>

特に指定しない

<授業計画>

回	テーマ	授 業 内 容
1	オリエンテーション (キャリアデザインとは・学習のルール・一年間の予定) 学校支援ボランティア	本講座の目的・意義・概要 教員を志望する理由 学校支援ボランティアの意義
2	立ち居振る舞い、教員採用試験の概要、進路調査	社会人としての五つの基本、教員になるための心構え、進路調査
3	学長講話	教員としてのやりがい
4	教育現場の課題①「学力の向上」	学力向上への方策 ＊講話・レポート
5	授業の基礎・基本	授業と板書：板書の文字（チョークを持って書く）
6	講話「生徒指導提要の理解」	現場の実態を踏まえた、児童生徒への接し方
7	教育現場の課題②「いじめ問題の解決」	いじめ問題の現状と課題 ＊講話・グループディスカッション
8	教育現場の課題③「不登校の解消」	不登校の現状と解消への方策 ＊講話・グループディスカッション
9	教育現場の課題④「特別支援教育の充実」	特別支援教育の現状と課題 ＊講話・グループディスカッション
10	教育現場の課題⑤「家庭・地域との連携」	家庭・地域との連携と必要性 ＊講話・グループディスカッション
11	講話 「現場が求める人材」	学校現場の現状と期待される人材 玉野市立荘内中学校生徒との交流 ・進路選択についての経験談 ・どんな先生を求めているか
12	キャリア演習「荘内中学校生徒との交流」	
13	教員に求められる資質や能力①「信頼される教員」	信頼される教員としての資質 ＊講話・グループディスカッション
14	教員に求められる資質や能力②「授業力の向上」	授業力向上のための取組 ＊講話・グループディスカッション
15	教員になるための取組の成果と課題	教員になるために努力していること 後期に向けての課題 夏季休業中の過ごし方 レポート試験

全学共通・教養科目

科目コード	14002		区 分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目		
授業 科目名	キャリアデザインⅠ [健康科学科用]		担当者名	畑島 紀昭			○		
			実務経験との関連	柔道整復師、鍼灸師としての実務経験がある教員が、実務経験をもとに進路選択、キャリアプランなどについて指導する。					
配当年次	3年	配当学期	前期	単位数	1単位	授業方法	講義	卒業要件	必修

<授業の概要>

卒業後の進路を実りあるものにするためには、計画的にキャリアプランを立て、早期から準備に取り組む必要がある。進路別就職活動のスケジュールを理解するとともに、実際の現場で求められている柔道整復師のスキルやモラルを理解し、身に付けることを学修成果として求めます。

<授業の到達目標>

柔道整復師に求められる職業倫理及び、社会保障制度について学び、柔道整復師の役割を理解し、自身の目指すべき方向性を明確にする。柔道整復師の職務と誇りを育むとともに、ビジネスマナー、自己分析力、業界に対する知識を身に付ける。

<授業の方法>

必要に応じて、ゲストスピーカーをお招きして講義を進める（オンライン形式も含む）。資料の配布等はGoogle Classroomを活用する。

<アクティブ・ラーニングの要素有無、有る場合はその方法>

課題に対してグループワークを実施する。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

授業意欲・態度：30%授業中の意見交換：20%授業課題・レポート提出： 50%

<教科書>

なし

<参考書>

なし

<授業計画>

回	テーマ	授 業 内 容
1	ガイダンス	授業の目的、進め方についての説明就職先に関するアンケート
2	職業倫理①	業界調査（地域医療に貢献する柔道整復師の実態）
3	職業倫理②	業界調査②（効果のある施術を探る）
4	職業倫理③	OB・OG講話 柔道整復師の業務とその実際
5	職業倫理④	企業講話 柔道整復師が果たすべき役割
6	自己分析①	自己PRの仕方① 自分の強みを考える
7	自己分析②	自己PRの仕方② 自分の強みを伝える
8	自己分析③	自己PRの仕方③ 名刺の役割および作成
9	自己分析④	志望動機を考える
10	就職活動の実践①	履歴書・エントリーシートの書き方
11	就職活動の実践②	履歴書・エントリーシートの相互指導（添削）
12	就職活動の実践③	面接（オンライン及び対面）の対応
13	就職セミナー①	企業数社が集まる就職セミナーに参加し、複数の企業の説明を聞く。
14	就職セミナー②	企業数社が集まる就職セミナーに参加し、複数の企業との面談を体験する。
15	前期まとめ	柔道整復術の短期的視点・長期的視点夏季休暇中の企業見学について

全学共通・教養科目

科目コード	14002		区 分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目		
授業科目名	キャリアデザインⅠ〔公務員〕		担当者名	森 利治			○		
			実務経験との関連	担当者の中で民間教育機関（公務員予備校等）教員としての実務経験がある教員が進路選択、キャリアプランなどについて指導する。					
配当年次	3年	配当学期	前期	単位数	1単位	授業方法	講義	卒業要件	必修

<授業の概要>

このキャリアデザインⅠ（公務員）は体育学科、教育経営学科、こども発達学科、現代経営学科に在籍している公務員就職を希望する学生対象の講義である。このクラスでは公務員就職を希望し、公僕として働くことの意義を実際に各種公務員として働くためにどんな職種の公務員があるのか、それはどのような業務をするのかを知ることになりたい職種を絞っていきます。そのためには公務員試験とはどのようなものか、どんな試験内容で構成されているのか、教養試験、適性試験、論文試験、面接試験などについて解説していく。以上のことを学んでいく中で本当に公務員試験に取り組む姿勢を養い、後期から始まる試験勉強に向けて覚悟を決めさせていく。

<授業の到達目標>

1. 公務員就職について職種や試験の知識を学び、将来目指すべき職種を見つける。
2. 自己理解を深め、将来の自分の方向性について考える。

<授業の方法>

講義、講演会、グループワーク（模擬面接、集団討論）等の形式で実施する。

<アクティブ・ラーニングの要素有無、有る場合はその方法>

有り。問題の一部についてはグループ内で相談し答えを見つける。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

単元別レポート70%、授業に取り組む姿勢30%

<教科書>

特になし

<参考書>

特になし

<授業計画>

回	テーマ	授 業 内 容
1	オリエンテーション	本科目の目的・意義・概要、スーツ着用に当たっての再確認事項、公務員を志望する理由、立志会の説明
2	公務員試験の概要（1）	公務員試験の種類
3	公務員試験の概要（2）	公務員の職種について①（公安職）
4	公務員試験の概要（3）	公務員試験の職種について②（公安職）
5	公務員試験の概要（4）	公務員試験の職種③（行政職）
6	公務員試験の概要（5）	公務員試験の募集要項の見方と、願書の作成体験
7	公務員試験の概要（6）	各種公務員試験の出題内容と実際の問題を見てみよう
8	講話「現場が求める人材」	大都市圏の警察官の仕事について
9	公務員試験の概要（7）	体力検査、各種適性検査について
10	公務員試験の概要（8）	各種試験の論文課題について
11	公務員試験の概要（9）	論文を実際書いてみる
12	立志会の入会説明	全体のカリキュラムの概要、活動内容の説明、費用についての説明、4年生の先輩からの話
13	公務員試験の概要（10）	面接試験について（自分についての棚卸）
14	公務員試験の概要（11）	面接試験について（自己分析）
15	公務員試験の概要（12）	面接試験について（自己PR）

全学共通・教養科目

科目コード	14002		区 分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目		
授業科目名	キャリアデザインⅠ〔幼保〕		担当者名	檜 寄 日佳			○		
			実務経験との関連	幼稚園教員としての実務経験がある教員が、実務経験をもとに教職・保育等について指導する。					
配当年次	3年	配当学期	前期	単位数	1単位	授業方法	講義	卒業要件	必修

<授業の概要>

キャリアデザインⅠ〔幼保〕は、こども発達学科に在籍している幼稚園・保育所・こども園・福祉施設等への就職を希望する学生対象である。保育職を選択し働くことの意味や自己理解を深める中で、保育職に進むために必要な資質や能力を養い、将来の生き方について考える機会とする。また、保育職採用試験合格を目指して、論作文、面接、実技試験などの実際について指導をする。

<授業の到達目標>

1. 保育職を選択した意思を明確にし、保育職に進むために必要な資質や能力を高める。
2. 自己理解を深め、将来の生き方について考える。
3. 保育職採用試験合格を目指し、論作文、面接、実技試験などの技術を高める。

<授業の方法>

- ・講話を通して、課題の提示や説明
- ・課題についてのグループワーク
- ・課題についての演習

<アクティブ・ラーニングの要素有無、有る場合はその方法>

- ・アクティブ・ラーニングの要素有
- ・5、6人のグループに分かれ、各回毎のテーマについて意見をまとめグループごとに発表を行う。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

学習態度20％、課題50％、試験30％

<教科書>

特になし

<参考書>

特になし

<授業計画>

回	テーマ	授 業 内 容
1	職業選択と就職活動の意思確認と見通し	授業の目的・意義・概要
2	採用試験の流れと概要	採用試験までの流れ、自治体・法人の探し方
3	社会人のマナー（1）	社会人の身だしなみ、挨拶、立居振舞
4	社会人のマナー（2）	言葉遣い
5	学長講話	働くことの意味と職業選択
6	面接（1）	面接試験の基礎知識、面接準備
7	面接（2）	学生相互の面接練習
8	面接（3）	先輩による面接練習
9	論作文（1）	構成メモと文章の作成（1）
10	論作文（2）	構成メモと文章の作成（2）
11	保育実技（1）	手遊び・集団遊び
12	保育実技（2）	絵本の読み聞かせ、紙芝居
13	保育実技（3）	わらべ歌・弾き歌い
14	前期のまとめ（1）	期末テスト
15	前期のまとめ（2）	期末テストの振り返り長期休業期間の就職活動について

全学共通・教養科目

科目コード	14003		区 分	教養			実務経験のある教員等による授業科目		
授業 科目名	キャリアデザインⅡ [企業]		担当者名	佐藤 典子/眞鍋 芳江 濱嶋 幸司/大久保 諒 鈴木 真理子/本庄 慶樹			○		
			実務経験 との関連	担当者の中で一般企業経験者、キャリアコンサルタントとしての実務経験がある教員が進路選択、キャリアプランなどについて指導する。					
配当年次	3年	配当学期	後期	単位数	1単位	授業方法	講義	卒業要件	必須

<授業の概要>

「折れない、やめないIPU生」の育成をしつつ、就職支援も強力に推し進めるために、キャリアデザインIIでは働くことの意義や大学での学びが社会にどう関連するか考える。

<授業の到達目標>

業界分析や職種研究によって、将来の自分のキャリアを強くイメージできるようになる。また大学での学びが社会でどのように役に立つか自分の言葉で話せるようになる。

<授業の方法>

講義やグループディスカッションなど。毎回1つもしくは2つのテーマを設ける。2つの場合は、AとBの45分程度の授業を続けて実施する。

<アクティブ・ラーニングの要素有無、有る場合はその方法>

アクティブ・ラーニング有

各回でアイスブレイクの演習をペアで実施したり、リアルタイムでアンケートに参加・回答したりする。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

参加意欲・態度60％ 提出物40％ 提出物へのフィードバックについてはグーグルクラスルームを活用する。

<教科書>

随時印刷物を配布する。

<参考書>

特になし

<授業計画>

回	テーマ	授 業 内 容
1	A. 初回ガイダンス B. 自分を知る(自己分析)	キャリアデザインIIとなるので、改めて初回ガイダンスで授業のルールや心構えについてキャリアセンター職員からアドバイスを提供する。また自己分析でさらに自己理解を深める。
2	A. ビジネスマナー、身だしなみ講座 B. スタートアップセミナー	翌年3月1日の就活解禁までのスケジュールを把握し、どのようなスキルをいつまでに身に付けたいかについて知見を得る。ビジネスマナーも習得する。
3	A. インターンシップ報告会 B. 就活エージェントと上手に付き合う	現役3年生がインターンシップの成果を報告する。またエージェントをどのように就活に活用するかを学ぶ。
4	A. OB・OGから学ぶ～転職する時に必要な力 B. 企業研究の方法	卒業生に登壇してもらい、講話を聴く。また企業研究の効果的なやり方を理解する。
5	A. 履歴書を書いてみよう B. 自己PRの書き方	書類選考を通過する履歴書とはどのようなものか。他者と差別化できる志望動機はどのようにして書くのかについて理解を十分に深めてもらい、異なる業界、職種へのエントリーに際しても学生自身がカスタマイズできるレベルにまでスキルが上がることを目指す。
6	A. OB・OGから学ぶ B. ガクチカの書き方(実践)	理解しているようで理解できていないベンチャー企業や大手企業について、そこで働く先輩達からリアルな体験を聞く。学生のうちに力を入れたことをどう効果的に書くかを演習する。
7	A. 一般常識・時事問題を知ろう B. 給与明細の見方、社会保険税金の考え方	時事問題についての関心を高める。また社会人にとって重要項目である「お金」「保険」「税金」にまつわる知識を身に付ける。
8	A. 学生の意向、志向から今の就活を読み解く B. 社会人の先輩から学ぶ大切なこと	履修学生の就活動向をアンケートでリアルタイムで集計し公表、学生の意欲を高める。また担当教員のキャリア形成のストーリーを知ることで長期的なビジョンを持つ。
9	ゲストスピーカーによる講話	社会で活躍する外部講師を呼び学生の視野を広げる。
10	A. 企業研究① B. 企業研究②	各企業で活躍するビジネスパーソンから学ぶ。
11	A. 学長講話 B. 志望動機の書き方	大橋節子学長より「社会に出るにあたって」また「企業就職」について講話頂き、人生において大切なことを学ぶ。
12	A. 人生設計をしよう B. 企業研究おさらい+自己PRブラッシュアップ	長期的な人生設計を学生のうちから試みる。また企業研究や自己PRを更に進める。
13	A. 海外志向を持つ B. 外資系企業で働く	青年海外協力隊の体験を聞き、グローバルな視野を持つ。また本学からは就職実績がまだ少ない外資系企業で働くことについて理解を深める。
14	A. 就活直前モチベーションアップ講座 B. 学内合同企業研究会参加企業の説明	就活を目前に控え、各自のモチベーションを上げる。合同企業研究会に参加して成果を上げるコツを習得する。
15	A. 合同企業説明会の周り方、就活バスツアーについて B. 4年生になっても覚えておくこと	キャリアデザインIIの最終回にあたり、4年生になって覚えておくべき大学での手続きについて学ぶ。あと1か月に迫った解禁日を前に事務的連絡なども含む。

全学共通・教養科目

科目コード	14003		区 分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目		
授業 科目名	キャリアデザインⅡ〔教職〕		担当者名	練 亨 千之/坂根 清貴/奥山 優 安井 正郎/千葉 照久 大崎 卓己/延原 まどか 岩田 清隆/中野 隆重			○		
			実務経験 との関連	担当者の中で小学校教員、中学校教員、特別支援学校教員としての実務 経験がある教員が、実務経験をもとに教職について指導する。					
配当年次	3年	配当学期	後期	単位数	1単位	授業方法	講義	卒業要件	必修

<授業の概要>

このキャリアデザインⅡは、子ども発達学科、教育経営学科、体育学科に在籍している教員を希望する学生対象である。このクラスでは、教員を選択し、働くことの意義や自己理解を深める中で、教員になるために必要な資質や能力を養い、将来の生き方について考えさせるとともに、教員採用試験合格を目指して、より実践的な取組について指導を行う。学習成果については、論理的思考力、表現力、協働性、教職への熱意などについて評価する。

<授業の到達目標>

- 1 教員を選択した意思を明確にし、その職に進むために必要な資質や能力を高めることができる。
- 2 自己理解を深め、将来の生き方について考えることができる。
- 3 教員採用試験合格を目指して、必要な取組を理解し、日常の実践に生かすことができる。

<授業の方法>

- ・講話を通して、課題の提示や説明を行う。
- ・課題についてグループディスカッションを行う。
- ・課題についての演習を行う。・レポートの提出。

<アクティブ・ラーニングの要素有無、有る場合はその方法>

アクティブ・ラーニング有

- ・テーマについて5、6人のグループに分かれてデスカッションを行いグループごとに発表したり、近くの学生同士で意見交流を行ったりする場を設ける。
- ・事後課題として授業での学びを振り返り、気付きや今後に生かしていきたいことなどをレポートにまとめる。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

- ・学習意欲 20% ・受講態度 20% ・講義内での課題等 20% ・最終レポート 40%

<教科書>

特に指定しない

<参考書>

特に指定しない

<授業計画>

回	テーマ	授 業 内 容
1	教員採用試験合格への取組 キャリアデザインの後期の予定 個別面談・学習進行表	合格に向けての心構え～これからの努力 ＊対策講座について ＊個別面談・学習進行表について
2	教師に求められる資質や能力③「保護者対応」	保護者に対応するために必要な心構えと力 ＊講話・グループディスカッション
3	教育課題への対応① 「時事問題への対応」 ～情報モラル教育～	情報モラル教育の理解とその対応 ＊講話・グループディスカッション
4	出前講座 「学校現場が必要としている教員像～授業づくり～」	主体的・対話的で深い学びの実現 ・広島県教委「ワークショップ」
5	教育課題への対応②「人権尊重の教育」 ～いじめ・児童虐待・LGBT～	人権尊重の教育の基本的な考え方と取組 ＊講話
6	合格の秘訣を探る①「教採合格者の体験」	教員採用試験合格者の体験発表 ＊「私はこうして合格した」
7	合格の秘訣を探る②「個人面接・場面指導」	教採における個人・集団面接の概要と留意点 ＊先輩の個人面接・場面指導
8	合格の秘訣を探る③「模擬授業」	教採における模擬授業の概要と留意点 ＊先輩の模擬授業
9	合格の秘訣を探る④「集団面接・集団討論」	教採における集団討論等の概要と留意点 ＊先輩の集団面接・集団討論
10	教育課題への対応③ 「令和の日本型教育について」 ～個別最適な学び、協働的な学びの実現～	個別最適な学び、協働的な学びの実現に向けた取組 ＊講話
11	講話①「生徒指導への対応」	生徒指導についての基本的な考え方と実践事例 ＊中学校長の講話
12	講話②「学級集団の育て方」	学級集団づくりについての基本的な考え方と実践事例 ＊小学校長の講話
13	教育課題への対応④ 「家庭・地域・専門機関等との連携」 ～チーム学校～	チーム学校の体制づくりの必要性 ＊講話・グループディスカッション
14	教育課題への対応⑤「学校安全」	学校安全の取組の必要性 ＊講話・グループディスカッション
15	教採に向けた取組の成果と課題	教員採用試験に向けた取組の振り返り来年度に向けての方策春季休業期間の学習 レポート試験

全学共通・教養科目

科目コード	14003		区 分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目		
授業科目名	キャリアデザインⅡ [健康科学科用]		担当者名	畑島 紀昭			○		
			実務経験との関連	柔道整復師、鍼灸師としての実務経験がある教員が、実務経験をもとに進路選択、キャリアプランなどについて指導する。					
配当年次	3年	配当学期	後期	単位数	1単位	授業方法	講義	卒業要件	必修

<授業の概要>

卒業後の進路を実りあるものにするためには、計画的にキャリアプランを立て、早期から準備に取り組む必要がある。進路別就職活動のスケジュールを理解するとともに、実際の現場で求められている柔道整復師のスキルやモラルを理解し、身に付けることを学修成果として求めます。

<授業の到達目標>

柔道整復師に求められる職業倫理及び、社会保障制度について学び、柔道整復師の役割を理解し、自身の目指すべき方向性を明確にする。柔道整復師の職務と誇りを育むとともに、ビジネスマナー、自己分析力、業界に対する知識を身に付ける。

<授業の方法>

必要に応じて、ゲストスピーカーをお招きして講義を進める（オンライン形式も含む）。資料の配布等はGoogle Classroomを活用する。

<アクティブ・ラーニングの要素有無、有る場合はその方法>

アクティブ・ラーニング有。

必要に応じてグループワークを実施する。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

授業意欲・態度：30%授業中の意見交換：20%授業課題・レポート提出： 50%

<教科書>

なし

<参考書>

なし

<授業計画>

回	テーマ	授 業 内 容
1	キャリアプランの設計①	前期授業および夏季休暇の省察就職活動に向けたキャリアプランの設計
2	職業倫理及び関係法規①	健康保険制度の概要および不正請求について
3	職業倫理及び関係法規②	業務におけるリスクマネジメント
4	社会保障制度①	関連企業講話「社会保障費から読み解く本邦の社会保障制度」
5	社会保険制度②	関連企業講話「少子高齢化が進む日本で接骨院が果たすべき役割」
6	社会保障制度③	関連企業講話「老齢年金を始めとした各種年金制度の概要」
7	社会保障制度④	関連企業講話「障がい者への福祉サービスを始めた社会福祉」
8	社会保障制度⑤	企業関連講話⑤「公的扶助（生活保護）制度」
9	グループ討議①	競技スポーツ分野で柔道整復師が活躍する方策を考える
10	グループ討議②	医療分野で柔道整復師が活躍する方策を考える
11	グループ討議③	介護・福祉分野で柔道整復師が活躍する方策を考える
12	就職セミナー①	企業数社が集まる就職セミナーに参加し、興味のある企業の説明を聞く。
13	就職セミナー②	企業数社が集まる就職セミナーに参加し、興味のある企業の方と面談する。
14	キャリアプランの設計②	春季休暇ならびに来年度の就職活動に向けたプランを設計する
15	キャリアプランの設計③	自分自身のキャリアプランを他者と共有する

全学共通・教養科目

科目コード	14003		区 分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目		
授業科目名	キャリアデザインⅡ〔公務員〕		担当者名	森 利治			○		
			実務経験との関連	担当者の中で民間教育機関（公務員予備校等）教員としての実務経験がある教員が進路選択、キャリアプランなどについて指導する。					
配当年次	3年	配当学期	後期	単位数	1単位	授業方法	講義	卒業要件	必修

<授業の概要>

このキャリアデザインⅡ（公務員）は体育学科、教育経営学科、こども発達学科、現代経営学科に在籍している公務員就職を希望する学生対象の講義である。このクラスでは公務員就職を希望し、公僕として働くことの意義を実際に各種公務員として働くためにどんな職種の公務員があるのか、それはどのような業務をするのかを知ることとなりたい職種を前期で絞ったうえで、警察官、消防士、自衛官、市役所、県庁職員など実際現場で活躍されている方などをお招きして実際の業務を生講義していただき、学生が調べてきたことと実際との相違を学び、４年生から始まる本試験に向けて仕事の意味を理解した上で試験に臨んでいくことを目的とする。

<授業の到達目標>

1. 公務員採用試験に合格するために、キャリアデザインⅠで取り組んだ自己分析をもとに集団面接形式での実践演習を行い、実際の面接試験に向けての動機付けになるようにする。
2. 各職種で活躍されている外部講師の方からの講話、合格を勝ち取った先輩方の体験談を聴いて、自分の進みたい道に対しての覚悟を決め受験に対するモチベーションを高める。

<授業の方法>

講義、講演会、論文対策、模擬面接などの形式で実施する。

<アクティブ・ラーニングの要素有無、有る場合はその方法>

アクティブ・ラーニング有。

問題の一部についてはグループ内で相談し答えを見つける。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

期末試験70%、単元別レポート15%、授業に取り組む姿勢15%

<教科書>

特になし

<参考書>

特になし

<授業計画>

回	テーマ	授 業 内 容
1	後期の目標を設定する	志望先を考える。勉強と部活動、アルバイトなどとのバランスについてスケジュールを立てる。
2	実践演習（１）	面接試験について（集団面接①）
3	講話「現場が求める人材」（１）	消防士の仕事内容（１）
4	実践演習（２）	面接試験について（集団面接②）
5	講話「現場が求める人材」（２）	地方の警察官の仕事内容について
6	合格の秘訣を探る（１）	公務員試験合格者の体験談（１）
7	実践演習（３）	面接試験について（集団面接③）
8	講話「現場が求める人材」（３）	刑務官の仕事内容について
9	合格の秘訣を探る（２）	公務員試験合格者の体験談（２）
10	講話「現場が求める人材」（４）	県職員の仕事内容について
11	合格の秘訣を探る（３）	公務員試験合格者の体験談（３）
12	講話「現場が求める人材」（５）	自衛官の仕事内容について
13	講話「学長講話」	本試験まであと三か月、追い込み時期を乗り切るために学長先生から学生にメッセージをいただく。
14	講話「現場が求める人材」（６）	市職員の仕事内容について
15	講話「現場が求める人材」（７）	消防士の仕事内容について（２）

全学共通・教養科目

科目コード	14003		区 分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目		
授業科目名	キャリアデザインⅡ [幼保]		担当者名	檜 寄 日佳			○		
			実務経験との関連	幼稚園教員としての実務経験がある教員が、実務経験をもとに教職・保育等について指導する。					
配当年次	3年	配当学期	後期	単位数	1単位	授業方法	講義	卒業要件	必修

<授業の概要>

キャリアデザインⅠ〔幼保〕は、こども発達学科に在籍している幼稚園・保育所・こども園・福祉施設等への就職を希望する学生対象である。保育職を選択し、働くことの意味や自己理解を深める中で、保育職に進むために必要な資質や能力を養い、将来の生き方について考える機会とする。また、保育職採用試験合格を目指して、論作文、面接、実技試験などの実際について指導をする。

<授業の到達目標>

1. 保育職を選択した意思を明確にし、保育職に進むために必要な資質や能力を高める。
2. 自己理解を深め、将来の生き方について考える。
3. 保育職採用試験合格を目指し、論作文、面接、実技試験などの技術を高める。

<授業の方法>

- ・講話を通して、課題の提示や説明・課題についてのグループワーク・課題についての演習

<アクティブ・ラーニングの要素有無、有る場合はその方法>

アクティブ・ラーニング有。

- ・5、6人のグループに分かれ、各回毎のテーマについて意見をまとめグループごとに発表を行う。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

学習態度20％、課題50％、小テスト30％

<教科書>

特になし

<参考書>

特になし

<授業計画>

回	テーマ	授 業 内 容
1	職業選択と就職活動の意思確認と合格までの見通し	授業の目的・意義・概要
2	論作文（1）	原稿用紙の使い方と表記
3	論作文（2）	自己分析シートを活用した自分の強みと課題
4	論作文（3）	保育内容に関する論作文
5	論作文（4）	保育の時事問題にかんする論作文
6	採用情報の探し方	採用情報の探し方、求人票の見方
7	就職説明会、インターンシップへの参加準備	就職説明会・インターンシップの申込、参加準備、マナー、情報の整理
8	合同就職説明会の参加	保育職合同説明会及び保育ICT見本市への参加
9	保育職の仕事とやりがい（1）	公立保育園で働く先輩の講話
10	保育職の仕事とやりがい（2）	私立保育園で働く先輩の講話
11	保育職の仕事とやりがい（3）	児童福祉施設で働く先輩の講話
12	保育職の仕事とやりがい（4）	学童保育で働く先輩の講話
13	採用試験の準備（1）	受験計画の作成
14	採用試験の準備（2）	合格に向けての対策と準備
15	後期のまとめ	最終テスト及び振り返り

全学共通・教養科目

科目コード	14001		区 分	教養			実務経験のある教員等による授業科目		
授業 科目名	キャリアサポート [企業]		担当者名	佐藤 典子/濱嶋 幸司 本庄 慶樹			○		
			実務経験 との関連	担当者の中で一般企業経験者、キャリアコンサルタントとしての実務経験がある教員が進路選択、キャリアプランなどについて指導する。					
配当年次	4年	配当学期	前期	単位数	2単位	授業方法	講義	卒業要件	選択

<授業の概要>

このキャリアサポート（企業）は体育学科、教育経営学科、こども発達学科、現代経営学科に在籍している企業就職を希望する学生対象の講義である。

就職活動だけではなく、社会に出てすぐに役立つスキルを習得することもできる。また、履修者それぞれの進路に合わせて、授業内容を選択できるように設定しており、履修者が社会に出るにあたって感じる「課題」をタイムリーに解決できるように構成している。なおこの授業は、進路決定届を提出した時点でオンデマンドに切り替え可能。また、学内で随時行われている企業説明会に参加することで、出席代替えとする。

<授業の到達目標>

- 1) 納得した進路決定をする。
- 2) 実践に役立つプレゼンのスキル、ビジネスマナーの知識を身につける。

<授業の方法>

グループ・ワーク、オンデマンド、学内企業説明会への出席など。

<アクティブ・ラーニングの要素有無、有る場合はその方法>

アクティブ・ラーニング有。

毎回毎のテーマについて参加者同士で話し合い、意見をまとめグループごとに発表を行う。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

意欲・態度 60％、内容理解 40％

<教科書>

随時配布物を配る。

<参考書>

特になし

<授業計画>

回	テーマ	授 業 内 容
1	オリエンテーション・授業説明	本授業の目的・意義・システムを理解する。
2	企業パンフレットのみかた	企業パンフレットやHPを見て、会社の情報を得る。
3	求人票のみかた	求人票から読み取れる情報を知る。
4	一番入ってみたい企業／気になる企業	オンデマンド回 一番気になる企業の理由となどを、フォームで提出。
5	一番気になる企業	第4回の課題をグループに分かれてプレゼン。
6	自己紹介スライド作成①	採用面接のみならず、内定式や入社後の自己紹介で使える面白自己紹介スライドを作成。
7	自己紹介スライド作成②	採用面接のみならず、内定式や入社後の自己紹介で使える面白自己紹介スライドを作成。
8	ビジネスマナー①（書類）	履歴書などだけではなく、内定承諾初などを企業に送る際のカバーレターの作り方、並びに封筒での送り方などを学ぶ。
9	ビジネスマナー②（名刺・席次など）	社会に出てから役に立つビジネスマナーを実施。
10	ビジネスマナー③（電話）	社会に出てから役に立つビジネスマナーを実施。
11	先輩のキャリアを知る	先輩に、進路相談をしてみる。
12	社会人の人間関係	社内における人間関係について考える。
13	福利厚生について	福利厚生に関して知る。
14	多様なキャリアを知る	それぞれのキャリア形成。
15	総論	これまでの振り返りをして学びの総括をする。

全学共通・教養科目

科目コード	14001		区 分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目		
授業科目名	キャリアサポート [教職]		担当者名	千葉 照久/坂根 清貴/奥山 優 安井 正郎/練苧 千之/大崎 卓己 延原 まどか/岩田 清隆/中野 隆重			○		
			実務経験との関連	担当者の中で小学校教員、中学校教員、特別支援学校教員としての実務経験がある教員が、実務経験をもとに教職について指導する。					
配当年次	4年	配当学期	前期	単位数	2単位	授業方法	講義	卒業要件	選択

<授業の概要>

この授業の目的は、キャリアデザイン等で学んだ教師としての基礎知識をもとに、教員採用試験合格に向け、より実践的な資質・能力を身につけることである。その目的を達成するために、教員採用試験に向けた心構えや具体的な攻略法についての講義・演習を中心に、より実践に即した形で指導する。学習成果については、論理的思考力、表現力、協働性、教職への熱意などについて評価する。

<授業の到達目標>

- ・教師としての基礎知識や学校現場の課題を理解することができる。
- ・教員採用試験の傾向と対策を理解し、志望する自治体に応じた面接、論作文、模擬授業等の実践力を高めることができる。
- ・教師のやりがい、心構え等を理解し、自らの理想とする教師像を明確にすることができる。

<授業の方法>

講話を通して、課題の提示や説明。課題についてのグループ協議。課題についての演習。Googleクラスルームによる課題管理

<アクティブ・ラーニングの要素有無、有る場合はその方法>

アクティブ・ラーニングの要素有

- ・ 5, 6 人のグループに分かれてテーマに沿ってディスカッションし、意見をまとめてグループごとに発表する。
- ・ 個人面接や集団面接など、実践に即した演習を行う。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

学習意欲 20% 受講態度 20% 講義内での課題等 20% 最終レポート 40%

<教科書>

特に指定しない

<参考書>

特に指定しない

<授業計画>

回	テーマ	授 業 内 容
1	教員採用試験合格に向けて 教員採用試験の事務手続き キャリアサポートの概要	採用試験合格に向けた取り組みについて 提出願書の記入方法や注意事項 調査票の記入・提出 等
2	社会人のマナー 自己PR作成について	立ち振る舞い、服装とあいさつ 自己PR作成のこつ、自己PR作成 自己アピールの仕方
3	自己アピールの仕方 学習進行表	グループで自己アピール演習 学習進行表を基にした情報交換
4	教育現場の課題 1 「いじめ・不登校への対応」 ＜オンデマンド授業＞	いじめ・不登校への対応についての講義 自分に取り組むことについてのレポート
5	学長講話	進路に向けてのメッセージ
6	個人・集団面接の攻略法	個人・集団面接の回答の仕方 自分の考えをわかりやすく伝える手立て 集団討論・グループ活動の実施形態
7	集団討論等の攻略法	複数の受験者との討論の進め方 課されるテーマの過去問の分析 ※形態によって自治体別に分かれる
8	実践に即した場面指導演習	場面指導の実際：現場で起こりうる場面での対処法
9	教育現場の課題 2 「インクルーシブ教育」	グループに分かれて集団討論
10	受験に際しての心構え個人面接の攻略法	一次試験（二次試験）に臨む心構え 聞き手を意識した回答の仕方、IPUに関する質問への回答の仕方
11	模擬授業の攻略法	模擬授業の概要、先輩の模擬授業（VTR視聴） 学習指導案の書き方と模擬授業の実際
12	教育現場の課題 3 「主体的・対話的で深い学び」	グループに分かれて集団討論
13	実践に即した面接演習（1）	授業に関する面接対策を中心に 夏期対策講座について
14	実践に即した面接演習（2）	面接の評価の観点を意識した面接の仕方 上手な展開の仕方 面接講座の仕上げ 本講座のまとめをする。
15	まとめ 最終レポート	最終レポートの作成 課題「学んだことをどのように教職に役立てるか」（900字 60分）

全学共通・教養科目

科目コード	14001		区 分	教養			実務経験のある教員等による授業科目		
授業 科目名	キャリアサポート〔健康科学 科用〕		担当者名	河野 儀久			○		
			実務経験 との関連	柔道整復師、一般企業経験者としての実務経験がある教員が、実務経験をもとに進路選択、キャリアプランなどについて指導する。					
配当年次	4年	配当学期	前期	単位数	2単位	授業方法	講義	卒業要件	選択

<授業の概要>

このクラスは健康科学科に在籍する学生が対象である。接骨院、整形外科クリニックをはじめとした医療機関、フィットネスクラブ、介護事業所などへの就職を目指す学生の就職活動における指導を実施する。

<授業の到達目標>

日本で就職を希望する留学生にエントリーシート記入の方法、面接対策、採用試験対策についてのサポートと指導をおこない、学生の希望に応じた企業・団体への内定を獲得できることを目標とする。また出身国に戻り就職を希望する留学生に対しては、より多くの情報を集め学生と個別に相談しながら、希望に沿った企業や団体への就職獲得を目指す。

<授業の方法>

講義、グループワーク、演習、面談の形で実施する。

<アクティブ・ラーニングの要素有無、有る場合はその方法>

アクティブ・ラーニングの要素有：面接練習

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

講義内の討論参加度合 30％、 講義内での課題遂行度合 30％、 最終レポート 40％

<教科書>

特に指定しない

<参考書>

特に指定しない

<授業計画>

回	テーマ	授 業 内 容
1	オリエンテーション	授業の目的とその概要について
2	自己分析	就職先となる医療・福祉業界の特徴を知る。
3	就職するには(1)	自分のアピール方法を知る
4	就職するには(2)	就職活動の流れと準備
5	就職するには(3)	企業・業界を知る
6	就職するには(4)	情報収集の方法
7	就職するには(5)	希望企業・業界の決定
8	就職活動サポート(1)	エントリーシートの書き方・履歴書の書き方(1)
9	就職活動サポート(2)	エントリーシートの書き方・履歴書の書き方(2)
10	就職活動サポート(3)	筆記試験・適性検査対策(1)
11	就職活動サポート(4)	筆記試験・適性検査対策(2)
12	就職活動サポート(5)	個人面接・集団面接対策
13	就職活動サポート(6)	個人面接・集団面接練習(1)
14	就職活動サポート(7)	個人面接・集団面接練習(2)
15	まとめ	就職活動を振り返って

全学共通・教養科目

科目コード	14001		区 分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目		
授業科目名	キャリアサポート [公務員]		担当者名	横内 浩平			○		
			実務経験との関連	民間教育機関（公務員予備校等）教員としての実務経験がある教員が進路選択、キャリアプランなどについて指導する。					
配当年次	4年	配当学期	前期	単位数	2単位	授業方法	講義	卒業要件	選択

<授業の概要>

公務員を目指す学生がキャリア（職業人生）を考えていくには、さまざまな出題科目について十分理解しておく必要がある。この講義では、今年度の公務員試験に必要な知識のうち、次の内容を身に付けることを目的とする。1. 直前期に必要な「問題演習」2. 二次試験対策のうち主に「集団討論」「集団面接」

<授業の到達目標>

1. 公務員への理解を深め、公務員として働くことの意義を認識することができるようになる。2. 採用試験における「頻出分野」の理解ができるようになる。3. 今年度の公務員試験に必要な知識を養成し、採用に向けての準備を怠らない習慣を身に付けている。

<授業の方法>

1. 講義（配布プリントを使用し授業、問題演習を進める）2. 振り返り（授業の内容に関するまとめ）※授業の一部についてはインターネット上のサイトを活用して解説します。

<アクティブ・ラーニングの要素有無、有る場合はその方法>

有り：集団討論や集団面接の練習はグループを作って行う

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

定期試験の結果 50%、確認テスト35%、授業態度 15%

<教科書>

特に指定なし

<参考書>

特に指定なし

<授業計画>

回	テーマ	授 業 内 容
1	履修ガイダンス	講義の進め方について説明する。
2	問題演習 (1)	政治
3	問題演習 (2)	経済
4	問題演習 (3)	日本史
5	問題演習 (4)	世界史
6	問題演習 (5)	地理
7	問題演習 (6)	生物・地学
8	二次試験対策 (1)	集団討論・集団面接等 (1)
9	二次試験対策 (2)	集団討論・集団面接等 (2)
10	二次試験対策 (3)	集団討論・集団面接等 (3)
11	二次試験対策 (4)	集団討論・集団面接等 (4)
12	二次試験対策 (5)	集団討論・集団面接等 (5)
13	二次試験対策 (6)	集団討論・集団面接等 (6)
14	二次試験対策 (7)	集団討論・集団面接等 (7)
15	まとめ	重要事項の確認・試験の注意など

全学共通・教養科目

科目コード	14001		区 分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目		
授業科目名	キャリアサポート [幼保]		担当者名	檜 寄 日 佳			○		
			実務経験との関連	幼稚園教員としての実務経験がある教員が、実務経験をもとに教職・保育等について指導する。					
配当年次	4年	配当学期	前期	単位数	2単位	授業方法	講義	卒業要件	選択

<授業の概要>

幼稚園・保育所・認定こども園・福祉施設等において保育職を志望する学生を対象とした選択科目である。保育者としての基礎知識と採用試験合格に向けた具体的な指導をする。

<授業の到達目標>

1. 保育者としての資質や能力を高めることで、保育者として働くことへの意思を明確にする。
2. 保育職に進むために必要な論作文、面接、保育実技などの技術を高め、志望する自治体や法人の採用試験に合格する。

<授業の方法>

講義、演習、グループワーク、個別指導

<アクティブ・ラーニングの要素有無、有る場合はその方法>

有り。

- ・アクティブ・ラーニングの要素有
- ・5、6人のグループに分かれ、各回毎のテーマについて意見をまとめグループごとに発表を行う。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

学習態度20％、課題50％、小テスト30％

<教科書>

特になし

<参考書>

特になし

<授業計画>

回	テーマ	授 業 内 容
1	職業選択と就職活動の意思確認と合格までの見通し	授業の目的と概要
2	合格までの計画	採用情報と求人票の整理、将来を見通した長期計画と短期計画
3	願書の作成	自分の強みを生かした願書の作成
4	願書の郵送	封筒の書き方と願書送付のマナー
5	面接（1）	面接ノートの整理希望自治体、法人の試験傾向と対策
6	面接（2）	集団面接攻略のポイント学生相互の集団面接演習
7	面接（3）	学科教員による集団面接演習
8	面接（4）	個人面接攻略のポイント学生相互の個人面接演習
9	面接（5）	学科教員による個人面接
10	面接（6）	集団討論攻略のポイント学生相互の集団討論演習（1）
11	面接（7）	集団討論演習（2）
12	論作文（1）	保育の時事問題に関する論作文（1）
13	論作文（2）	保育の時事問題に関する論作文（2）
14	学びのまとめ（1）	学びのまとめと振り返り
15	学びのまとめ（2）	合格までの就職活動保育職のキャリア形成